

ミツヒロニュース



今、「弁当の日」が注目されています。子供達が自分の弁当を作って学校に持って行くそうです。自作の弁当を前に、目を輝かせている子供達。食事を作ることの大変さ、喜びを知り、家族が大切に思ってくれていることを実感するそうです。食を通して命の尊厳、感謝の心を育む取り組みは、家族のあり方を再確認する良い機会となります。

光廣 昌史

今月のトピックス

- 決算書の上手な活かし方…将来の経営の判断材料になります。
- 税の歴史…日本における税の歴史を紹介します。
- あとがき
昔に戻って☆
／お気に入りの調味料

決算書の上手な活かし方

決算書には、会社の現在の状態が表れます。また、決算書を上手に活かせば、経営に役立てることが出来ます。今回は決算書の活かし方のポイントを紹介します。また、詳しくは、7月15日（木）の経営・財務実務講座「決算書の活用法」にてお話しします。興味のある方はセミナーにもご参加いただければと思います。

1. 損益分岐点を算出して、経営に反映させましょう

費用を変動費と固定費に分けて、損益分岐点を算出してみましょう。利益を出すための必要売上高や費用圧縮による利益シミュレーションなど、今後の経営に必要な資料を作成することができます。下記の例を元に方法を紹介します。

例) ラーメン一杯450円のラーメン屋がありました。

変動費 (麺・スープ・チャーシュー・はしなど)	一杯 200 円
固定費 (雑費・店舗運営費など)	年間 100 万円

とすると、



a. 損益分岐点売上(年間)は何杯必要であるかを算出するには、

①まず、一杯当たりの**限界利益(売上高から変動費を差し引いた金額で、よって固定費と利益を含んだ金額と同額となります)**を算出します。

→売上高 450 円 - 変動費 200 円 = **250 円**となります。

②限界利益は、**固定費と利益の合計金額**でもありますので、利益を生むには、**1年で何杯以上売り上げなければならないか**という、

固定費 100 万円 ÷ 限界利益 250 円 = **4,000 杯**

となります。これを**損益分岐点売上数量**といいます。

このラーメン屋さんが 450 円でラーメンを販売する場合は、年間 4,001 杯以上販売出来て初めて利益が出ることが算出できるわけです。

それでは、

b. **利益を25万円出すためには、何杯売り上げなければならないでしょうか？**

→ (固定費100万円/年+利益25万円/年) ÷ 250円 = 5,000杯/年となり、
5,000杯売り上げなければならないことが分かります。

また、

c. **年間売上が3,600杯しか見込めない場合、年間200,000円の利益を出すためには、固定費をいくらにすればよいでしょうか？**

→ 売上高 = 450円/杯 × 3,600杯 = 1,620,000円のうち
変動費 = 200円/杯 × 3,600杯 = 720,000円となり、
限界利益は 売上高1,620,000円 - 変動費720,000円 = 900,000円となります。
固定費は、限界利益から利益を差し引くと算出でき、
限界利益900,000円 - 利益200,000円 = 700,000円となり、固定費を70万円以内に抑えることが出来なければ、利益として出したい20万円が減っていくほかないことが分かります。

以上のように、損益分岐点を求めることにより、**売上げ目標や、かけられるコストを算出することが可能になります。**

2. 流動比率の動きを押さえましょう

流動比率とは、

$$\text{流動比率} = \frac{\text{期末時点の流動資産}}{\text{期末時点の流動負債}} \times 100\% \quad \text{で算出される数字です。}$$

流動比率は、**1年以内に返済する負債**に対して、**1年以内に回収できる資産**がどのくらいあるか、つまり、近い将来返済する負債に対して、支払手段となる資産がどのくらいあるかを計算したものです。

流動比率は業種などにより回収サイクルが早いところもあり、一概には言えませんが、**高いほど望ましい**と言うことになります。また、前期との比較により、**流動比率の変化を見ていただき、会社の短期的な債務支払能力が落ちていないか**をチェックしていただくと良いかと思います。

3. 売掛債権の回収期間に注意しましょう

売上に伴って発生した売掛金や受取手形をまとめて売上債権と呼びますが、この回収期間を見ることが大切です。

$$\text{売上債権回収期間} = \frac{\text{売上債権}}{\text{売上高} \div 365(\text{日})}$$

この計算式では、**1年間の売上高のうち、売上債権が何日分残っているのか**を表します。**同業種で回収期間を比較**することにより、売上債権の回収の良し悪しを判断することが出来ます。また、前期との比較により、極端に長くなっている場合には、不良債権が発生している場合もあり、取引先ごとに検証する必要があります。

以上、決算書の活かし方を一部紹介しました。お役立ていただけると幸いです。

税の歴史

飛鳥時代

飛鳥時代に行われた大化の改新（645年）では、**公地公民**（土地や人民を国家のものとする）など、新しい政治の方針が示されました。

701年に完成した大宝律令では、**租・庸・調**という税や労役をかける税のしくみができました。

【豆知識1】租・庸・調とは？

租は男女の農民に課税され、税率は収穫の約3%でした。庸は都での労働（年間10日間）、又は布を納める税、調は布や絹などの諸国の特産物を納める税だったようです。

ちなみに庸と調は男子のみに課税され、農民の手で都に運ばれたそうです。

奈良・平安・鎌倉・室町時代

奈良時代には、**墾田永年私財法**（743年）が制定され、土地の私有化へと展開していきました。

また、平安時代には大きな寺社や貴族の荘園が各地にでき、農民は荘園領主（土地を所有する地方の豪族）に**年貢**や**公事**（糸・布・炭・野菜などの手工業製品や採取物）、**夫役**（労働で納める税）などを納めました。

鎌倉時代は**守護**、**地頭**や**荘園領主**のもとで経済が発達しますが、農民には年貢のほかに**公事**と**夫役**が課せられていました。

室町時代には、税の中心は**年貢**でしたが、商業活動の発達により商工業者に対しても税が課せられ、街道に設けられた関所では、**関銭**（**通行税**）などが税として課せられました。

安土桃山・江戸時代

全国統一を行った豊臣秀吉は、土地を調査して**太閤検地**を行い、農地の面積だけでなく、農地の収穫高などを調べて年貢を納めさせるようにしました。

当時の税率は、**二公一民**といい、収穫の三分の二を年貢として納めるという厳しいものでした。

江戸時代には、田畑に課税される年貢の**地租**が中心で米などを納めたそうです。

また、商工業者に対する税も、**運上金**・**冥加金**（株仲間と呼ばれる同業者に商売の特権を認めるかわりに納める税）といったかたちで納められました。

明治時代

明治政府は歳入の安定を図るため、1873年に**地租改正**を実施しました。地租改正では**土地の地価の3%**を地租として貨幣で納めさせたそうです。また所得税や法人税が導入されたのもこの頃です。

ちなみに**所得税**は、所得金額300円以上の所得者に課税されるものでした。

大正・昭和時代

大正時代から昭和初期にかけては、戦費調達のため、**増税**が続きました。一方で、現在ある税のしくみができ始めたのもこの頃です。

1940年に**源泉徴収制度**が採用されました。1946年には日本国憲法が公布され、教育、勤労にならぶ三大義務の一つとして「**納税の義務**」が定められました。また翌年には、納税者が自主的に自分の所得や税額を計算して申告・納税する**申告納税制度**が導入され、1950年には**シャウプ勧告**に基づき税制改革が行われました。この勧告の考え方は、今日においても税制度の基盤であるといわれています。

【豆知識 2】シャープ勧告とは？

戦後混乱した日本の経済事情の下で、どのような税制を立てるべきか、ということについて、来日した、アメリカのコロンビア大学教授シャープ博士の使節団が調査を行い提出した勧告のことです。この勧告には、**直接税中心の税制にすることや、地方財政の強化**などが盛り込まれました。

平成時代

1989年(平成元年)に、商品の販売やサービスの提供に対して3%の税金を納める**消費税の導入**や**所得税の減税**などを含む大幅な税制の改革が行われました。さらに消費税は1997年(平成9年)から5%の税率(**地方消費税1%を含む**)に変わりました。

このように、経済社会の変化にともない税の制度は変わってきました。これからも、豊かで安定した社会を築くために、税のしくみは変わっていくことでしょう。

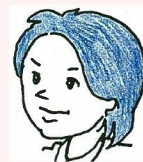
参考文献

決算書の上手な活かし方
税の歴史

「決算書見どころ勘どころ」など
「財務省」HP

あしがき

こんにちは。下田です。雨の季節がやって来ましたね。我が家の前は、田んぼが広がっているので、雨が降り始める前には、カエルが鳴き始め天候の変化を知らせてくれます。まさにピンポイント予報です。



さて先月、中学時代の同窓会がありました。担任の先生が定年退職されたお祝いの会、ということで約30年ぶりの再会は、とても刺激的でした。会場に入りテーブルに着く、辺りを見回す…あの人は誰??? そんな会話があちらこちらから聞こえてきます。私達の学年は2クラス70名。みんな良く知っているはずなのに重ねてきた年月相応の変化(?)に…謎! 謎! 謎! そんな感じで始まった同窓会も時間が経つうちにすっかり盛り上がり、気持ちは十代のあの頃へ。俗に言うアラフォー世代の私達、会場に映し出された当時の写真…無邪気な笑顔は懐かしく愛おしい。締めは、みんなで肩を組み校歌斉唱(校歌って覚えているものですね)。なんだか青春しちゃいました。別れを惜しみつつ「また、元気で会おうね。」と再会の約束を交わした中学時代の仲間達。今は、それぞれの人生を歩み、家族のこと仕事のこと、健康のことなど、抱えている悩みは多かれ少なかれあると思うけれど、同じ場所で同じ時間を過ごした旧友との再会は、笑いが絶えず、明日へ進む力を分けてもらった気がします。



森川です。5月になって、暖かくなったり涼しくなったり、雨の日も多く、このまま梅雨入りなの?! という雰囲気になってきました。春をもう少し楽しみたかったと思うのは私だけでしょうか。話は変わり、先日、某デパートの「イタリアンフェア」に行ってきました。買いたいのは、「バルサミコ酢」。私がとっても尊敬しているある女性は、料理がとっても上手!! で、彼女から調味料として教えていただいたのがバルサミコ酢でした。最初は使い方もイマイチ分からず取り入れてしまいましたが、これがとてもお役立ち。サラダやチーズにかけてももちろん良し、最近では、魚や肉にもソースと混ぜて楽しんでいます。フェアに行く度に疑問に思っていたのですが、バルサミコ酢って、調味料なのに、ワイン並みに値段帯がバラバラです。500ml程度で500円のものがあるれば、なんと、100mlで30,000円以上のものまで! どうしてこうも値段が違うんだろう…と思ったら、製法から原材料まで様々な面で違いがあるんだそうです。安価なものは工場で大規模生産できる製法で、多少添加物なども入っているようなのですが、高価なものは、添加物などが一切入っていないで、少量生産でしか出来ないものだそうです。バルサミコ酢「初級」の私は、まだ高価なバルサミコ酢を買うことはできていませんが、フェアの時に試食してみると、高価なものはまるやかでうまみもあり、違いを感じました。中国の黒酢のように、アミノ酸もたくさん入った体に良いものだと思います。引き続き、色んな料理で楽しみたいと思っています。皆さんも、ぜひ興味があればお試しくださいな~!!

【発行】 株式会社オフィスミツヒロ / 光廣税務会計事務所 代表取締役・税理士 光廣 昌史

あなたの経営羅針盤
Office Mitsuhiro

株式会社オフィスミツヒロ / 光廣税務会計事務所
〒730-0801 広島市中区寺町5番20号
Tel 082-294-5000 & Fax 082-294-5007
URL <http://www.office-m.co.jp>

